

## 国内外



## 10.11◇世界成長、下方修正

国際通貨基金（IMF）は、最新の世界経済見通しで、2023年の世界の実質成長率を2.7%とし、7月の前回予測（2.9%増）から0.2ポイント下方修正した。下方修正は3回連続となる。インフレ抑制のため各国の中央銀行が実施している利上げなどが要因と分析している。

## 10.11◇「全国旅行支援」スタート

政府の旅行需要喚起策「全国旅行支援」が46道府県でスタートした（東京都は20日開始）。全国規模の旅行割引は2020年12月に停止した「Go To Travel」以来となる。事業費は約5,600億円で、国から都道府県に補助金として配分され、受付先の旅行会社や予約サイトに割り当てられる。

## 10.13◇企業物価、9.7%上昇

日銀は、9月の国内企業物価指数（2020年平均＝100、速報）が前年同月比9.7%上昇の116.3と19か月連続で前年を上回ったと発表した。指数値は1960年の統計開始以降で過去最高。円安やロシアのウクライナ侵攻によりエネルギーや原材料の輸入価格が高止まりしていることを反映した。

## 10.21◇消費者物価、3.0%上昇

総務省は、9月の全国消費者物価指数（2020年＝100、生鮮食品を除く）が前年同月比3.0%上昇の102.9だったと発表した。消費税増税の影響を除けば1991年8月以来、31年1か月ぶりの伸び率。資源高と歴史的な円安が影響し、エネルギー関連にとどまらず、幅広い品目が値上がりしている。

## 県内



## 10.14◇県産米作況、「やや不良」の96

農林水産省は、本県の2022年産米の作況指数（平年＝100）について、「やや不良」の96と発表した（9月25日時点）。東北6県では最も低くなる見通し。6月上旬の低温や日照不足に加え、8月の大雨が影響した。県北と県央は95、県南は98でいずれも「やや不良」だった。

## 10.20◇秋田火力4号機、運転延長

東北電力は、秋田火力発電所4号機（秋田市）の廃止時期を2023年3月から24年7月に先送りすると発表した。運転開始から40年以上経過し老朽化しているが、卸電力市場の価格高騰が続く現状では、自前の発電施設を動かし続ける方が電力供給コストを抑えられると判断した。

## 10.24◇県人口、93万人割れ

県は、10月1日現在の県人口を92万9,915人（前月比1,305人減少）と発表した。この1年間で、自然減が1万2,402人（出生者4,105人、死亡者1万6,507人）、社会減が2,557人（転入者1万2,098人、転出者1万4,655人）となり、県人口は1万4,959人減少した。

## 10.26◇三菱商事、秋田支店開設へ

三菱商事（東京）は、11月1日に秋田支店（秋田市）を開設すると発表した。国内で新たに支店を開くのは35年ぶり。本県沖での洋上風力発電事業の展開を見据え、洋上風力に関わる共生策の推進や地域創生事業を手掛けることが目的。同日に銚子支店（千葉県）も開設する。